

令和3年第8回教育委員会定例会議事録

招集日時 令和3年8月24日（火曜日）午後1時30分開会／午後3時閉会

招集場所 中央図書館2階 視聴覚ホール

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子

会議列席者 梶谷事務局長、公下次長兼学校指導課長、宮永次長兼教育庶務課長、上出生涯学習課長、池端中央図書館長、山下山中図書館長、左古教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、鳶崎文化振興課長
重谷教育庶務課リーダー

令和3年第8回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 本日、佐野委員は欠席になります。

昨日は二十四節気の処暑ということで、朝夕は少し涼しくなるという暦でありますけれども、確かに夜中は窓を開けると少し寒いくらいの気候になってきたかなと、秋が近づいてきたかなと感じます。

昨日は教職員の夏季全体研修がありました。コロナ禍で全員集まるのは難しかったんですけど、4分の1くらいの職員の方に集まっていたいて、残りの4分の3の職員の方は各学校でリモートで、つまり結果的には全員がお話を聞けたということです。藤原和博さんという著名な講師をお招きして行なったわけですが、一番印象に残ったことは、正解を求める教育はこれからは通用しないと。もちろん正解を求める教育もベースとしては大事なんだけど、小学校では1割、中学校では3割くらいで、正解のないものを協議しながら追及するというような授業がこれからは求められるというようにお話でした。非常に有意義な講演会だったかなと思います。

それから懸念していることのひとつなんですが、あと1週間で学校が始まります。学校が始まる中で、懸念される新型コロナウイルスの感染拡大というニュースが煽るように報道されていますけれども、まったく教育委員会としても同感、その通りだなと思っております。有効な対応策がなかなか見つからない中で、今までの対応策を厳密にしっかりと確実にこなっていく、そのような新学期のスタートが求められるのかなと思います。先週は各学校に、もし休校になったらリモートで授業ができるように、しっかりと準備をするようにということで教育委員会からも指示を出したところであります。本当に心配な新学期ですけれども、学びを止めるわけにはいきませんので、出来る範囲でしっかりとやりながら確実に子ども達の学びを進めていきたいと思っております。

それでは議件に入ります。本日審議事項は1件で、継続審議ということで、前回お示ししました議案第22号、令和2年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(案)について継続審議を行なってまいりたいと思っております。前回から皆さまよりたくさんのご質問をいただきました。教育委員会の方でも回答を準備しましたので、これから審議を進めてまいりたいと思っております。この件について宮永次長、お願いいたします。

● 議案第22号 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(案)
について

宮永次長 資料に基づき説明

○山田教育長 回答一覧ということで、皆さまから65件のご質問をいただいております。この回答に対してさらに質問やもう少し詳しく聞きたいということがございましたら、どこからでも結構ですので、ご質問いただければと思います。何かございますでしょうか。

○篠原委員 1ページ目の4番で、「夏季休業中には、一定期間持ち帰りを行い学習に利用しています。」とご回答がありました。一定期間とはどのくらいの期間なのか、全校で実施しているのかお聞きしたいです。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 すべての学校で持ち帰りをしております。これは7月の校長会でも持ち帰りということをお伝えしてありまして各学校で実施しております。期間については学校それぞれで、例えば全校登校日に持って帰り、次の登校日に返すとか、そういうふうにして各学校の学年とか規模によって違いますけれども、ある一定期間というのはそれぞれということで、すべての学校で持ち帰ってオンライン登校日とか、そういうかたちでパソコンを利用しております。

○篠原委員 これは意見ですが、タブレット等がせっかく配置されたので、子ども達が有効に活用できるように、夏休み期間でなくても家に持ち帰って利用できるようにご指導いただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 進め方として、ページごとに質問をしたら見やすいかなと思います。

○山田教育長 そうしましたら1番から13番までで何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 8番のプログラミング教育の推進で、特に教科担任制というところなんですが、「図工、理科、英語、体育の教科で県の施策として取り組んでいます。現在12校で行なわれています。」ということで、小規模な学校でもやっているのかお聞きしたいです。12校というのは全校ではないと思います。その実態はどのようなかたちになっているのか、あるいはやり方ですね。例えば6年生の担任の中で、例えば理科なら理科の授業を、2クラスあるとしたら2クラスをA担任が持ち、6年生のB担任が社会を持つようなやり方をしているのか。あるいは専科の教員がいるのかということも踏まえて実情を教えてください。

○山田教育長 いろんなケースがあって一概には言えないかもしれませんが、公下次長、お願いします。

○公下次長 すべて掌握しておらず申し訳ありませんが、12校は主に大きな学校だと記憶しております。今お話があったように5、6年生でとか持ち合いでとか、そういうかたちで行なっております。学校によっては理科の専科が入っている学校もあります。その学校の職員の状況、それから学校のある程度の希望とかを考えて出来る範囲の中でやっている状況であります。

○篠原委員 なかなか小規模校では難しいという実情はありますよね。

○公下次長 やはり大きな学校の方が多い状況ではあります。

○篠原委員 これはこれからの学習のやり方について非常に大切なことだと思っております。

小学校高学年から教科制になっていくというようなことも踏まえて、もちろん専科教員を配置することも大事だと思いますが、小規模校だからできないということがないように、学校の中でも工夫をしていただきながら、いろんな先生方がチームで子ども達を見ていくという体制が必要だと思っておりますので、ぜひ教育委員会の方でご指導をしていただきたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 13番のAIドリルの活用についてということで、公営塾との関連についてでございます。小学校ではいわゆる公営塾がなくなったと報告がありました。そこでドリルの利用状況をお聞きしましたら、「昨年の12月から今年の7月までの半年間で利用状況が1.5倍になった学校が6校あります。」と。6校ということは3分の1ですよ。1.5倍にならない残りの3分の2の学校を心配しております。いわゆる学校の日頃の勉強に追いついていけない子に、補充とかきめ細かな指導というところでの公営塾の役割が大変大切だと私自身は思っておりますけど、このようなコロナの状況でございますので、なかなか面と向かってのものは難しいかもしれません。そのようなときに学習ドリルは大変有効だと思いますので、ぜひ利用状況が1.5倍になった学校が6校ではちょっと寂しいので、もう少し増やせるような活用方法を、例えば学校の中で帯タイムの時間に積極的にやるとか、せつかくAIドリルを市として導入しているわけですから、せめて1.5倍になった学校が過半数を超えてほしいです。そのための具体的な手立てやご指導を教育委員会の方で考えていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。これは意見です。

○山田教育長 他、ございませんか。それでは13番まではよろしいですか。

では続いて14番から26番までで何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 14番でお願いいたします。12番との兼ね合いもあるんですが、12番では台湾やシンガポールとのオンラインでの具体的な計画はないということでございました。14番の学力向上について、かがっ子休日スクール等をオンライン学習に替えていくことも検討していくということですが、この2つを合わせてオンラインのなにか授業を検討する際の、教育委員会だけではなく他課との連携状況を教えていただきたいと思います。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 教育委員会だけではなく、例えば国際交流にしても、それから放課後の学習活動にしても他課とのつながりはあります。両方ともその点での話し合いは今のところ進んでいない状況ですが、今後PCの持ち帰りがどんどん進んでいく中では活用は有効だと思いますので、その点は他課との関連を考えていきたいと思っております。

○山下委員 今、スマートシティの構想がありますので、そちらの方との連携を強めていただいて、専門知識のある方の協力をいただいて進めていただければいいのかなと、これは意見でございます。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 17番の生徒指導の充実についてお願いいたします。Q-Uのことについてお聞きしました。全校に定着したので市としての補助は出していないということで、実施している学校が0校になったのではと心配しておりました。以前の教職員の全体研修の中でもQ-Uを開発した先生のお話をお聞きしたという事例もあります。ということで、加賀市としても力を入れ

てやっている事業だと思っておりました。ただし 24 校中 11 校ということで、本当に 0 校にならなくて安心しております。なぜこれほど強調するかと言いますと、私自身が現職のときに、市の補助金対象校ではなかったですけど、いろんな支援をいただきながら学校独自で Q-U 検査を実施したといういきさつがあります。これはいわゆる学校のクラスの中での現状と、今後の課題が各担任にはっきりわかる非常に良い検査だと思っております。それを実施しているのが 11 校ということは、実施していない学校もたくさんあるのではと非常に心配しております。やはり先生方が日常的に子ども達の様子を把握するのはなかなか難しいので、そのためのひとつの標準検査みたいなものとして Q-U 検査があるわけですから、学級内の集団構成、あるいは子ども達が困っていることについて事前にきちんとわかる、それを 2 回することによってどのように学級の集団の構造が変化したかわかりますので、もう少し各学校できちんと実施していただきたいと思っております。一番心配しているのは、不登校の子ども達が高止まりをしているということで、今度 2 学期が始まりますが、そういうことも踏まえて、やはり学校の中で日常的に子ども達の実態がわかるような科学的な分析が必要ですので、補助がないのにやってくださいというのは難しいかもしれませんが、そういったご指導ができれば大変嬉しいと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 23 番の教職員研修の充実のところをお願いいたします。転入者研修会を 30 年度まで行なっていましたが、今後は「校内研修等で地域を学ぶ機会や紹介に活用できる資料などの配布を考えていきます。」と回答をいただきました。さてどれだけできるでしょうか。非常に心配です。地域のことを知らない先生は地域の学校のことがよくわからないのではないかと思います。もっと地域の中に入ってほしいです。ただし先生方は非常に多忙ですので、ただ紙をもらっても目を通すのか非常に心配です。やはり教育委員会で公にふるさと学習を教育目標の中に打ち出しているんですから、それを教える先生方が知らないと話にならないわけです。学校でやってくださいという回答なので残念です。これは意見です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 関連して 25 番をお願いいたします。この回答を見ますと、「補助的な資料として利用しています。部分的に活用をしています。」とあります。ということはあまり使っていないんだなと思いました。なぜかと言いますと、年間計画の中で位置づけされていなかったら先生方はできません。小学校の「わたしたちののびゆく加賀市」についてはきちんと市の指導計画の中にも位置づけられています。6 年生の「加賀市の歴史」は、個人に配る予算がなく学校にストックされている状態なので、普段なかなか手に取って見ることもないと思いますが、非常に良い資料で、大人の方が読んでもわかりやすいとよくお聞きします。中学校の「中学校社会科学習帳」も年間計画の中には位置づけされていないのではないかと感じます。ぜひこれも年間計画の中に位置づけていただきながら、文化振興課の出前授業にも関連して、講師として小学校の担当教員が難しければ、文化振興課の職員にお願いをするなどして計画的にやらないと、ますます子ども達は加賀市のことを知らないままで卒業してしまう可能性があります。特に中学校は心配をしております。ぜひ加賀市のすばらしさ、郷土のすばらしさを知って卒業してほしいと思っておりますので、教育委員会の方からご指導をお願いいたします。これは意見です。

- 山田教育長 他、ございませんか。それでは26番まではよろしいですか。
では続いて27番から39番までで何かご意見、ご質問ございませんか。
- 疎委員 32番なんですけど、今後ますますネットのトラブルが増えていくと思うんですが、実際トラブルに巻き込まれたときにすごくショックを受けると思うんです。そういうときの相談先は子ども達はわかっているんですかね。
- 山田教育長 公下次長、お願いします。
- 公下次長 その子の状況にもよりますが、学校の中ではスクールカウンセラーや教育相談の紹介、いつ来ていますよというのは、年度の最初だけではなくて、必ず年度途中でも校長会を通して伝えてあります。また県の方でのネットだけではなくいろんなSOSに対する取り組みもあります。確かにそれですべてをまかなうのは難しいと思うんですが、あと非行被害防止講座の中で困ったときはこういうところへという紹介もしていただきながら、学校で取り組みを進めていきたいと思っております。本当に学校と子どもと家庭とが繋がっていきながら、子どもそういう気持ちを吸い上げていけるような体制は必要だと思っております。
- 山田教育長 他、ございませんか。
- 疎委員 35番なんですけど、「保護者から連絡を受けお渡しすることになります。」とあるんですが、もう少し簡単に渡したりできないんですかね。
- 公下次長 行政まちづくり課との協力の中で、今対策として行なっている配布場所の一部が学校となっております。これから学校の方から困ったときには学校だけではなくて、こういう場所で受け取ることができますよというような文書を配布することになっております。それで保護者の方から必要だと言われればすぐに渡すことができる体制にはなっていますし、子どもが保健室に行ってお渡しもできます。
- 山田教育長 他、ございませんか。
- 山下委員 31番をお願いいたします。先生方が授業で用いようとするコンテンツについて、おそらく今まで先生方が模造紙に書いて磁石を貼ったりして作っていたものの代わりになると思うんです。そういった皆さんが利用できるベースになるものが、支援センターで作られているものかどうかというのをお尋ねします。
- 山田教育長 公下次長、お願いします。
- 公下次長 教育総合支援センターの方で今から開発と、それから各学校の先生自身が作られたものを、ポータルサイトを開設してそこにどんどん入れてもらっている状況なので、支援センター、それから市教委と取り組んでいくこととなります。
- 山下委員 現状は一律というか、出来たものを落とし込んでいる状態だと思うんですが、今後は先生方が自分で使えるもの、今まで学校で用意してきた図工工作をしたものに代わるものとして、個人で持つものが出来上がるというなと思っております。
- 山田教育長 他、ございませんか。
- 篠原委員 27番をお願いいたします。防災用品の備蓄についてお伺いいたしました。そのことについて別紙でまとめていただきましてありがとうございます。この中で市として予算を付けて配置したのは東和中学校だけですよね。他の学校はどのようなかたちでこのような備蓄ができたのか、わかる範囲で結構ですので教えていただきたいです。
- 山田教育長 宮永次長、お願いします。

○宮永次長　それぞれの学校において独自に備蓄をさせていただいているという認識でございます。市の方から予算立てるところは特にございません。もしかすると防災担当の方から配付というのがあるかもしれませんが、その辺は再度お調べしてメール等でまたご報告させていただきたいと思っております。

○篠原委員　市の独自予算で配置したのは東和中学校だけとお聞きしておりますので、他の学校が各校の自助努力によって、予想していたよりもはるかに多く防災備蓄をされていて感激いたしました。かといって全小中学校に防災備品が完備されているわけではないわけですよね。私が錦城東小学校におりましたときには、地域の皆様方からいただく教育後援会のお金を原資として、皆様方にお返しいたしますよということで防災備蓄を始めました。他の学校もそのようにしてやっているのかなと思いつつながら、大きな中学校でできているところがほとんどないです。錦城中学校はPTAの予算だと思います。これでしたら何か起きたときに地域住民の方は非常に不安に感じると思っています。やはり金沢みたいに各小中学校に防災備蓄施設を設けて、地域住民の方が安心して避難できるような体制作りを、防災課と協力をしながら、地域拠点としての学校ということで防災備蓄備品を充実させていただきたいと思っております。例えば錦城東小学校では使わなくなった食器等も若干準備してあると思っております。他の学校では古くなったら廃棄しているところが多くあると思っておりますが、なるべくならばお金をかけずに、古くなったら食器等を取りかえるときに、古いものを防災用として備蓄していくような方向性があっていいのではと感じております。これは意見です。

○山田教育長　他、ございませんか。

○山下委員　37番でお願いいたします。学校だよりやホームページのスマホの対応状況について、現在、学校のホームページについてスマホで見ようと思うと、見られないというかパソコン用のままになっているところが非常に多いと思うんです。今、保護者の方々や地域の方でもスマホでこういったものを見られると思うので、その辺の対応状況についてお尋ねいたしました。意見としてですが、スマホでもホームページがしっかりと閲覧できるようなソフトに変えていただいたらどうかなと思っております。

あと39番ですが、ネット上の補導活動の中で、回答の中に「ネット上での巡視」とあるんです。これについて抽象的でわからないので、具体的にどのような活動になるのか教えていただきたいと思っております。

○山田教育長　公下次長、お願いします。

○公下次長　ホームページについては確認をさせていただきたいと思っております。

ネット上での巡視ということですが、これは県のネットパトロールという事業がありまして、そこでSNSやそれらの配信の状況をできるだけ確認をしていきながら、何かそれに関する情報があったら内容によっては市教委の方にいただいて学校で連携をするということがあります。そういうかたちでネット上の巡視ということを経営パトロールの事業として県がやっているということです。

○山下委員　おそらくオープンサイトの上でのことに対してだと思っておりますが、おそらく事件やいろんなことがあるのは閉鎖されたサイトだと思います。事件性があればそれなりの部署が動いていただくとおもうんですが、その辺どういった活動をしているのかが知りたかったので質問させていただきました。ありがとうございました。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは続いて 40 番から 52 番までで何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 41 番 42 番の図書館関係のことについてお尋ねいたします。レファレンスの事例集ですが、「公開されているものに関しては市民でも閲覧可能であります。」と書いてあるんですが、どうやって見るのかわかりません。閲覧可能であってもやり方が書いていないことが多いので、具体的な方法を教えていただきたいです。

関連して近隣の図書館の本を検索することは、ホームページ上でできるので私もしたことがあるんですが、具体的にその本を借りようとしたらどうしたらいいのか、貸し出しカードがあるのかいないのか、ネット上ですぐできるのか、全然わかりません。いくら連携を強化していても市民の皆さんがわかりません。ぜひ市民の皆さんにわかりやすく説明をしていただきたいです。図書館だよりに掲載と回答されていて楽しみにしていますが、できればホームページで紹介していただければ、わざわざ文章で書く必要はないのかなと思っております。

○山田教育長 池端館長、お願いします。

○池端館長 まずレファレンス共同データベースなんですけど、こちらの方は国立国会図書館が構築しているものでして、そちらの方から入るんですが、実に私も難しいと思います。私も最初入り方がわからなくて他の職員に聞いたくらいなので、もう少しわかりやすくできるように、これからチラシを配るとか、ホームページ上でももう少しわかりやすく解説するとか、そのように改善していきたいと思います。

続きまして近隣自治体の本や県の図書館の本の借り方なんですけれども、こちらの方はホームページからでも借りる予約とかもできますし、検索してそのままお電話いただければこちらで予約を受けたりもできます。窓口に来られて予約される方が多いんですが、確かに一部の知った人だけのサービスになっているように感じるところもございます。今後、一番早くお知らせできるのが図書館だよりに載せるのが早いかなと思いますので、紙媒体とホームページ併せまして、充実させてわかるように載せて改善していきたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 46 番でお願いいたします。昨年は市で行なわれる大きな大会がなかったということで、4,000 万円から 500 万円ほどだったわけですが、この 500 万円という数字について、激励金の支給でこれだけかかっていたのかが知りたかったわけでございます。例えばこの前もタイムリーでドッジボールの S P K A G A の全国大会が延期になったという話がありました。例えばそういう申請があった激励金を受ける団体がいくつあったかわかればお願いいたします。

○山田教育長 田中課長、お願いします。

○田中課長 激励金を支給した件数につきましては、本日資料を持ち合わせておりませんので、改めて確認しまして資料の方を提出させていただきます。500 万円の予算はすべて激励金にあてられたというものではありません。この 500 万円の中の一部分について激励金の対象として使用させていただいているところでありまして、詳細の方を併せて提出させていただきたいと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 51 番の美術鑑賞・歴史資料見学の実施についてお願いいたします。今年度の施設見学目標が 4 施設となっております。上半期が終わりましたけれども、中学校においても実施

していくと書いてありますが、回答を見ますと「具体的な計画については進んでいません。教育課程や学校の状況を考え再度検討していきたい」と書いてあります。中学校でも確かに教育課程が混んでいますから、外へ出ていくのは困難だろうなと想像できますが、あえて目標を載せられたので、具体的な計画を考えていかななくてはいけないんじゃないかと思います。実施できるものと考えていかないと計画とはいえませんが、そのことについてもう少し具体的な答えをお聞かせいただけないかなと思います。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 4、5、6年生で行なっているふるさと教育ですが、正直申しまして、コロナということだけではなく、新しい教育課程になった中で進んでいないというのが正直なところです。中学校も新教育課程に入りまして、加賀市としてもプログラミング教育、STEAM教育に取り組みながら、どこの教育課程に絡ませていくかということもありますので、その点も含めて再検討ということでもう一度考えていきたいと思います。

○篠原委員 小学校は4校でも5校でも、中学校では1施設でもいいからしてほしいです。やはりふるさと教育の意義を感じておりますので、日々の教育課程に追われてさまざまな課題もいっぱいあるかと思いますが、実現可能な目標を立てていただきたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 52番をお願いいたします。3億円の予算を何に使うのかと思ったら30万円でした。なぜこうなったのか、このいきさつを教えてください。

○山田教育長 鳶崎課長、お願いします。

○鳶崎課長 本当に誤記載だと思います。千の単位を誤って押したのだと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは最後に53番から65番までで何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 56番をお願いいたします。ロードマップの掲載時期は未定だという回答でびっくりしました。今年度から10年間の計画なので、このままだったらもう半年終わっていますので、このままでいいのかなと思っております。民間ベースではいろんなところで歴史的都市ということで、それに対する啓発活動とか講演会等もお聞きしておりますので、当局がこのような状態でいいのかなと心配しております。

○山田教育長 鳶崎課長、お願いします。

○鳶崎課長 歴史的風致維持計画の16事業のうち、すべてのロードマップが未定というわけではなく、いくつかロードマップを作成しようと思えば作成できるものもあります。その辺はうちの課だけではなく他の課とも関係がありますので、そちらとも調整をしながらお示しできるものがあれば、機会があればお示ししたいと思います。

○篠原委員 課もまたぐものなので、積極的に会合をもって話をしながら事務局案を作っていたきたいと思います。このまま今年は何もしなかったとなってしまうのはこわいので、やはり加賀市当局としてはどのようなロードマップを作っていくのか、できたところまでいいので、いろんな方と協議しながら進めていってほしいと思います。

もうひとつ61番をお願いいたします。大聖寺十万石城下町史蹟再生事業のところで、パンフレットを見直して刊行と書いてあったので、刊行されたのかと思ったら、デザイン案を作成中とあってまだ発行していないのだと知りました。それから補遺編ができたということで、図書

館で閲覧できるようにしたと回答がありますが、ついさっきネットで調べましたが、ネットには載っていませんでした。ぜひそれがあるのか、ないのか確認をお願いいたします。

○山田教育長 鳶崎課長、お願いします。

○鳶崎課長 こないだから少し行き違いがあったので、確認しましたらいっていなかったということなので、つい2、3日前に図書館の方に連絡をしまして、送っていると思うんですが。

○池端館長 貸し出し用の新刊のところに先週はあったんですが、誰かが借りられたのか今日の午前中はなかったように思います。2冊いただいております。

○篠原委員 検索にはかかってこないです。

○池端館長 そちらは確認させていただきます。現物はきております。

○篠原委員 わかりました。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

では以上で審議の方を終わりたいと思います。今のご意見を十分反映させていただきたいと思います。議案第22号、令和2年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(案)について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

以上で審議事項は終わります。続いて報告事項に入ります。報告第41号、高校魅力化事業スタッフの配置について宮永次長お願いいたします。

○宮永次長 報告事項に入る前に先ほど1点ご説明漏れがありました。皆さんにお配りしている資料の5ページで、学識経験者の方の略歴ということで、加賀市が包括連携をしております金沢学院大学の教授の米澤利明先生にご意見をいただきますということをお伝えしておきます。

もう1点、宿題としていただいたものについては、改めてすべての項目をまとめまして、また皆さまの方に送らせていただきたいと思います。

● 報告第41号 高校魅力化事業スタッフの配置について

宮永次長 資料に基づき説明

○宮永次長 今日、重吉さんご本人に来ていただいておりますので、簡単に自己紹介と意気込みを言っていただきたいと思います。

○重吉さん この度、高校魅力化プロジェクトのスタッフとして着任しました重吉と申します。元々小松市の出身で、金沢工業大学を卒業して、最初は加賀の自動車とか二輪車のチェーンを作っている会社で3年ほどエンジニアをしておりました。その後、広島と東京でエンジニアだったり営業コンサルティングといったような職種を経験したのちに、兼ねてから教育の分野で力を発揮したいというふうに考えておりましたので、加賀市の高校魅力化のスタッフとして8月から働き始めました。今、加賀市内の高校の探究学習の支援だったり、先ほどのお話にもありましたが、大聖寺の駅前のフリースペースを立ち上げるというところの業務を行っております。高校の魅力化というところにとどまらず、加賀市の活性化というところにも少しでも貢献できればというふうに思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

○宮永次長 ありがとうございます。市教委といたしましても、重吉さんのキャリアを高校

生の方に反映できるように探究学習の強化に努めてまいりたいと思います。あと就業時間ですが、記載の通りではございますが、土日に高校生向けのイベントとかがありますので、一応フレックスというか、かなり臨機応変に週5日35時間という中でいろいろと動いていただくというところで考えております。以上になります。

○山田教育長　今の報告について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは重吉さん、よろしくお願いいいたします。

続きまして報告第42号、令和3年度運動会・体育祭の開催について公下次長お願いいいたします。

● 報告第42号 令和3年度運動会・体育祭の開催について

公下次長　資料に基づき説明

○山田教育長　これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第43号、令和3年度加賀市教育総合支援センター業務評価計画書についてお願いいいたします。

● 報告第43号 令和3年度加賀市教育総合支援センター業務評価計画書について

左古所長　資料に基づき説明

○山田教育長　これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員　教育開発室、教職員研修の評価のところでは、児童生徒を対象とした振り返りをするとして書いてあります。これはどこの子ども達かわかりませんでした。市内の小中学校の子ども達全員に振り返りを行なうということで理解してもよろしいでしょうか。

○山田教育長　左古所長、お願いします。

○左古所長　これについては、夏休み中にプログラミングとSTEAM教育の研修会を行なっておりまして、研修を受けた教員がそれぞれ持ち帰って実践を行なった上で、それぞれの学校から意見、質問または実施の報告等を求めたいと考えております。

○篠原委員　研修を受けた教員がいる学校で、その授業を受けた子ども達にアンケートをとるということで理解してよろしいでしょうか。

○左古所長　その研修については、まず中学校6校からSTEAM教育の中核教員が参加する研修を2回行なっておりまして、全ての中学校でその内容が浸透することになっております。また小学校の5、6年生対象の担任の研修も行なっておりますので、それぞれが学校に戻って実践したものをもとに、学校からの集約になりますけれども、そういうふうにして意見を聞きながら次年度に向けて改善をしていきたいと思っております。

○篠原委員　小学校5、6年生と中学校の全生徒のアンケートが出てくると理解しました。ぜひ今後もただ研修をする、ただタブレットを渡すだけではなくて、それがきちんとしたかたちで子ども達に反映されるように願っております。

○山田教育長　他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第44号、出張コンピュータクラブハウスの開催についてお願いいいたします。

- 報告第44号 出張コンピュータクラブハウスの開催について
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 これは学校指導課の方をお願いします。コンピュータクラブハウスの出張、大変いいことだと思います。これが山中、動橋だけでなく山代等の市内全域に広がっていくというお話だったので、非常に嬉しく思っております。ただしなかなか集まりづらいかと思います。子ども達が一番話を聞くのは先生方のお声だと思いますので、学校指導課の方から当該学校の子ども達に「こんなことがあるので、ぜひ行ってみたら」というように強く働きかけていただきたいです。このような出張の機会があるのは非常に素晴らしいことなので、学校の先生方からお声がけを願いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第45号、第63回全国社会教育研究大会石川大会、第52回東海北陸社会教育研究大会、令和3年度石川県社会教育委員研究協議会の参加についてについて上出課長お願いいたします。

- 報告第45号 第63回全国社会教育研究大会石川大会
第52回東海北陸社会教育研究大会
令和3年度石川県社会教育委員研究協議会の参加についてについて
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

以上で本日の議件はすべて終了いたしました。その他ということでこの際、何かございますか。

○山下委員 ここ最近になって小学生中学生の感染が発覚しているということで、他市でもそうだと思います。今朝のニュースを見ていると、子どもの感染がわからずに学校に来ていることがあると。また我々大人世代のワクチン接種が進むことによって、感染を知らずに移してしまうこともあると思います。この点について、2学期の始業について今の学校指導課の方針をお聞かせいただければと思います。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 スムーズに2学期に入って、子ども達がまた学習できればと教育委員会も学校も願っている状況です。今2学期のスタート前に感染のことを踏まえて、各学校によってはパソコンでオンライン登校をしたりとか、全体が集まるような機会を持たずに、分散的なかたちでということを実日も学校の方に指示をして、感染状況に関しては、県あるいは文科省から下りてくる文書も併せて徹底を指導している状況であります。今のところ各学校にも徹底していただいておりますが、また急な何かが起こるかもしれませんので、オンライン学習のための準備等も指示している状況であります。

○山下委員 こんなときではございますので、オンライン化の加速といえますか、教員の多忙

化の中ではございますけれども、今の時期しかできない、特に今だったらやらなきゃと気持ちも沸くかと思しますので、その辺も少し後押しをしていただけたらと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 生涯学習課の課長さんにお礼を言いたいと思っております。前回の定例会のときにグッドマナーキャンペーンのお話がありました。その中で大聖寺駅だけではなくて動橋駅にもという話をさせていただいたと思います。先日家に入っていたチラシを見ましたら、動橋駅でも実施するということが書いてありましたので、大変嬉しく思っております。今後ともそういうかたちでいろんなところで幅広く活動できるようにしていただけたらと思います。ありがとうございました。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは次回教育委員会定例会の日程について宮永次長お願いいたします。

● 次回教育委員会定例会の日程について

宮永次長 説明

○山田教育長 9月28日火曜日の1時半から、場所は後日連絡するというので予定に入れておいてください。

それでは以上で第8回教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。